

(様式 1)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：(一社)長野県馬術連盟 ]

[記載日：令和4年4月25日 ]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

| 項目  | 対応状況 |
|---|------|
| <b>原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。</b>   |      |
| (1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。  | A    |
| (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)<br>4月1日より法人化し、規約を一部改訂し従来の規約の不備を一部補足訂正した。   |      |
| (2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。   |      |
| (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)  |      |
| (3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。  | A    |
| (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)<br>事業運営においては(例 競技会開催等)責任者を決め法令順守の下で事業を行っている。とりわけ国民体育大会、北信越国民体育大会の選手の選考については、事前にHP等で公開、公平性の下で選考している |      |
| (4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。  | A    |
| (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)<br>適切な団体運営を行うための役員体制は別紙1のように行っている。<br>今後についてはもう少し事業内容を具体化した体制を組む。                                  |      |

|  |   |
|--|---|
| <b>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</b>   |   |
| (1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。  | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>総会での付則事項として円滑な事業運営を行うための運営理念を策定している。  |   |
| <b>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</b>   |   |
| (1) 役職員に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。  | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>とりわけ中央団体開催の資格試験、あるいはその更新研修を受ける際にはカリキュラムとしてコンプライアンスに関わる研修を受けている。<br>県のスポーツ協会でのそのような研修会があればできるだけ多くの役職員指導者を参加させたい。 |   |
| (2) 指導者, 競技者等に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。  | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>指導者に対するコンプライアンス教育は中央団体で実施しているが、競技者に対しては現在は指導者任せなところもあるので、ガイドライン等を作成しコンプライアンス教育を徹底させていきたい。                       |   |
| <b>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</b>   |   |
| (1) 財務・経理の処理を適切に行い, 公正な会計原則を遵守しているか。   | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>法人化に伴いは監査役は2名を配置しの厳格なチェックを受けているかつ、事前の会計処理については、税理士に監査、申告を依頼している。<br>日常の会計処理については税理士事務所とのオンラインで行っている。            |   |
| (2) 国庫補助金等の利用に関し, 適正な使用のために求められる法令, ガイドライン等を遵守しているか。   | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>国庫補助金、県の補助金については補助金規定(要項)=ガイドラインに基づき執行している。<br>かつ馬術連盟としての内規を策定しそれに基づいて補助金の執行をしている。                              |   |

|  |   |
|--|---|
| (3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。   | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>会計伝票に基づき適正な処理を行っている。会計処理の日常業務は会計事務所とのオンラインで行い月次決算を行い、指導を定期的に受ける                                     |   |
| <b>原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</b>  |   |
| (1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。  | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>現在の組織体制は公表しているが、運営にかかわる情報があれば積極的に開示している。<br>例 予選会の透明性と公平性。県有馬管理者、および管理場所の適正の定期的チェック。<br>補助金の支給規約の公開 |   |
| (2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。   | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>運営にかかわる情報は各部門ごとに共有し、かつ組織全体として開示している。  |   |
| <b>原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード&lt;NF 向け&gt;の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。</b>                         |   |
| 自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか<br>(ある場合は下欄に記述)   |   |
| 原則 ■ について  | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>今後については、指導者、選手に対してコンプライアンス教育を実施するために中央団体の講習会への参加は義務付けられているが、日本スポーツ協会、長野県スポーツ協会の講習会に積極的に参加する。        |   |
| 原則 ■ について  | A |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)<br>現在、理事の 15 名のうち 5 名が女性理事であるが、目標%はあえて設けないが積極的に登用していく。   |   |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 原則■について                 |  |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) |  |
| 原則■について                 |  |
| (現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) |  |